

## 普及現地情報

発信年月日：平成 26 年(2014 年) 9 月 1 日  
所 属 名：甲賀農産普及課  
番 号：C14008  
部 門 分 類：170 (花き)  
発 信 者 名：森

### お盆用パック小ギクの出荷数量が前年比 45%増加

J A こうか花卉部会（部会員数 24 名、小ギク栽培面積 1.4ha）では、パック小ギクの出荷に取り組まれています。今年のお盆の需要期間（7 月 20 日～8 月 15 日）に出荷されたパック小ギクは 11,200 束で、前年実績の 7,700 束に比べ、束数で 3,500 束、率にして 45%増加しました。

パック小ギクとは、収穫、選別した小ギクを生産者側で赤、白、黄の 3 色を混ぜて 3～5 本に組んで、パック包装したもので、主に量販店やホームセンターなどで販売されています。

この取り組みは今年で 8 年目を迎え、切り花の品質は年々向上し出荷数量も安定してきていることから、取引先から増産を要請されるなど産地への期待が高まっています。

当課では、気温によって収穫時期が前後する夏小ギク生産の不安定要因の解決のため、植物調整剤散布や夜間電照による開花調節技術を導入し、生産安定とともに J A 担当者と連携した栽培ほ場の巡回による現地指導や栽培管理情報を提供し、切り花の品質向上を図っています。

今年は、栽培期間前半は少雨、乾燥条件によりアブラムシ類等の害虫の発生が多く、7 月以降は台風や大雨によるほ場の滞水や病気の発生など栽培者は管理に苦労されましたが、収穫が需要期間にうまく適合したことや切り花品質の向上で直売から出荷へシフトされたことから、昨年実績を大きく上回りました。

パック小ギクの出荷は、9 月末頃まで続きます。当課では、来年の小ギク生産のさらなる拡大を目指して、新規栽培者の勧誘や栽培者に対する技術支援に努めます。



冷蔵庫に保管されたパック小ギク



出荷には県統一出荷箱を使用